※以下に示された取り組みは、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて見直されることがあります。

部活動における 新型コロナウイルス感染拡大防止のための取り組み（R3.4～）

本校では、国や県が定める指針やマニュアル等に則り、生徒の安全・安心に細心の注意を払い、部活動を行っております。

各部の具体的な取り組みについては、以下をご覧ください。

各部の取り組み

1	歴史研究	<ul style="list-style-type: none">○活動中は3密を避けて行動し、マスクをつけて活動する。○教室内の机をくっつけてグループを作ったり、机を対面させたりしない。○道具を使用したりする時は、終了後の消毒を励行する。○できるだけ、一人一人の間隔を開けて活動する。
2	英語研究	<ul style="list-style-type: none">○活動中はマスクをし、換気を行う。○2人掛けの机を一人で使用し、プレパや試合等の際にお互いの距離を十分確保する。○ストップウォッチなど共用の用具は使用後に消毒をする。○パソコン室では席を一つずつ空けてPCを使用し、使用前後にキーボードの消毒をする。
3	文芸	<ul style="list-style-type: none">○パソコン室で席に着く際、間をあけて「密」になることを避ける。○パソコン室を使用する際、こまめに換気を行う。○パソコン室使用前後にキーボード等の消毒をする。○部誌を印刷する際、換気に気を付け、「密」を避けることを心がける。
4	演劇	<ul style="list-style-type: none">○体調管理に努め、発熱や体調不良があるときは活動しない。○マスク着用、手洗いうがい、咳エチケットなどの徹底をする。○部室の使用を停止し、密閉空間を回避する。○活動中は各部員1メートル以上の距離をとり、密接を回避する。
5	美術	<ul style="list-style-type: none">○生徒が参加する日と時間を分散する。○用具は、共用を避ける。○換気をこまめに行う。○生徒の健康状態を把握し、発熱等の風邪の症状が見られるときは、活動への参加を見合わせる。

6	コミックイラスト	<ul style="list-style-type: none"> ○「密」になりやすくなるため、部室での活動は控え、自宅での制作を原則とする。 ○タブレット等使用する機器の消毒を徹底する。 ○用具や機器の共用はしない。 ○活動中は必ずマスクをつけ、密集して会話することは控える。 ○発熱・咳など健康上問題がある場合は活動を控える。
7	書道	<ul style="list-style-type: none"> ○パフォーマンスに参加する場合、その練習はなるべく短時間で換気をこまめに行う。 ○各展覧会への出展作品は、自宅での制作を原則とする。 ○生徒の健康状況を把握し、発熱等の症状が見られる時は活動の参加はしない。 ○用具の共用はなるべく避ける。共用した場合は消毒を行う。
8	写真	<ul style="list-style-type: none"> ○機材を使用する際は、手指消毒を徹底する。 ○撮影者と、被写体になる人との距離を適切に保つ。 ○被写体になる人にも感染拡大防止の協力をお願いする。 ○「3密」となることが予想される場所には、撮影に行かない。
9	華道	<ul style="list-style-type: none"> ○活動時は間隔を十分開けて席につかせる。 ○道具の貸し借りや手渡しをしない。
10	茶道	<ul style="list-style-type: none"> ○換気をこまめに行い、活動時はマスクを着用する。 ○お稽古の順番を待つ際には、十分に距離をとる。 ○手洗いを徹底し、所作の確認を中心に行う。 ○道具は共有せず、共有する場合は使用前後に消毒をする。
11	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の健康状態を把握し、発熱等風邪の症状がみられる生徒は活動への参加を見合わせる。 ○2つの調理実習室を使い、実習グループが密集しないようにする。 ○マスクを付け、実習前後の手洗い、換気を徹底する。 ○試食する際は生徒が向かい合わず、前向きで行う。
12	生物	<ul style="list-style-type: none"> ○発熱・風邪等の症状がある場合は部活動に参加しない。 ○手洗い・うがい・咳エチケットを徹底する。 ○ソーシャルディスタンスを保つ。 ○1日の活動人数を3名程度にする。 ○用具の共有を避ける。 ○共有しなければならぬ用具は消毒をする。

13	合 唱	<ul style="list-style-type: none"> ○個人練習時の生徒間の距離は必ず2m程度空ける。 ○練習形態は向かい合わないよう工夫する。 ○活動場所の換気を常時行うとともに、活動前後及び活動中もこまめに手洗いをする。 ○体調不良を感じる生徒は、練習には参加せず帰宅する。 ○練習はマスク着用で行う。
14	管 弦 楽	<ul style="list-style-type: none"> ○個人練習時の生徒間の距離は必ず2m程度空ける。 ○練習形態は向かい合わないよう工夫する。 ○活動場所の換気を常時行うとともに、活動前後及び活動中もこまめに手洗いをする。 ○体調不良を感じる生徒は、練習には参加せず帰宅する。
15	軽 音 楽	<ul style="list-style-type: none"> ○こまめに換気を行う ○楽器は自分のものを使う。共用のものを使用する場合は、使用後の手洗いを徹底する。 ○部室使用後に器具やドアノブ等の消毒をする。 ○中心に固まったり、向かい合って大きな声を出すことのないように練習を行う。
16	バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ○サーブ練習やシングルスでのラリー練習等を中心とし、生徒が接触しないような活動内容とする。 ○部室の利用は、用具を取りに行く等最小限に留める。 ○生徒の健康状態を把握し、発熱等の風邪の症状が見られるときは活動に参加せず、自宅で休養するよう指導する。 ○体育館内のこまめな換気を徹底する。
17	卓 球	<ul style="list-style-type: none"> ○活動時は、十分な換気ができる状態で行い、生徒同士の間隔を十分にとり、密な状況を回避する。 ○タオルの共用はせず、飲料も自分専用のもを飲み、回し飲みはしない。 ○卓球台での練習以外の時は、マスクを着用して活動する。 ○卓球台の上を手で拭くことはしない。 ○活動前後の手洗い・うがい・消毒等の徹底および体調不良があれば参加させない。
18	ソフトテニス	<ul style="list-style-type: none"> ○用具の共用を避ける。 ○部屋での「密」を避けるために、一度に使用する人数を制限し、第2運動場の部室、倉庫、または各自の教室を使うなど、場所を分散する。 ○状況によっては生徒が参加する日時を分散させ、活動人数が多くなりすぎないように努める。 ○練習の順番待ちの列を少なくするような練習にする。また、列では生徒間に距離を広く取る。
19	テ ニ ス	<p>接触、密を避けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ①挨拶としての握手をしない ②他人のラケットを使わない ③部室で着替える際には4人ずつで行う ④休憩のたびに手洗いをする ⑤間隔を取って準備体操・トレーニングを行う

20	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の健康状態や体力をふまえ、十分な準備運動とともに、段階的に指導を行う。 ○大きなかけ声やペアで行う柔軟は最小限にとどめ、個人の技術練習・基礎練習を重点に行う。 ○換気を十分に行い、こまめな手洗いなどを励行する。 ○練習中の待ち時間や部室での更衣などは、密集・密接にならないよう、時間をずらすなど対策をとる。
21	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ○アップやダウンなどをする際、複数人で組んでの活動は避ける。また、お互いに適切な距離を保ちながら行う。 ○更衣室やシャワーを使用する時は、人数制限をし「3密」を避ける。また、部活終了時にはドアノブなどの消毒を行う。 ○プールで活動する時は、プール内、シャワー使用時以外は出来る限りマスクを着用する。基礎トレーニングを実施する時は、基本的にマスクを着用しながら行う。ただし、呼吸が苦しくなるなどした場合は必要に応じて外し、その際はお互いの距離を十分に取る。
22	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ○当該種目に必要な体力を高める運動を実施する。 ○マスク着用時には呼吸が激しくなるような運動を行うことを控え、生徒の呼吸が苦しい様子が見られる場合は、必要に応じてマスクを外し、他の生徒との距離を2m以上確保して休憩するよう指導する。
23	弓道	<ul style="list-style-type: none"> ○武道場での活動に関しても、武道場の感染防止対策および本校の感染拡大防止のための取り組みをする。 ○武道場では、他校との合同使用は当面行わない。 ○武道場の控え室の利用については、本校の部室使用上の留意事項を適用する。 ○校内での活動内容を感染拡大防止のもと実践する。
24	バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の意思、健康状態を確認しながら、感染防止対策を踏まえながら、活動内容を考えて実施する。 ○常時、体育館の換気を行う。 ○大きな声を出さない。 ○マスクを着用して練習を行い、呼吸が苦しくなるようなときは他の生徒と距離を2m以上確保し、必要に応じてマスクをはずす。 ○練習後は手指の手洗い・消毒、道具の消毒を徹底する。 ○部室は換気をしつつ、密にならないように人数を制限して使用する。
25	ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ○部室での着替えは、密にならないように交代で行う。 ○準備運動の際には十分な距離を保って行う。また、近距離で大きな声を出す練習はしない。 ○ヘルメットを使用する場合は、帽子の上から着用し、直接頭髪に触れないようにする。 ○休憩する際は、うがい、手洗いをこまめに行うことを徹底するとともに、十分な水分補給をおこなう。 ○練習後、バット、ヘルメットなど消毒可能なものについては消毒を行う。
26	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ○部室使用に人数制限を行い、3密回避に努める。 ○活動前後及び活動中も適切な距離を取り、こまめな手洗いの励行を徹底する。 ○体育館及び部室の常時換気を行う。 ○体調不良を感じる生徒には、軽い症状であっても練習に参加させず速やかに帰宅させる。